

【葛根】

葛根（かっこん）は、山野に自生する葛（クズ）の根で、多量の良質のでんぷんを含んでいます。

漢方的には、汗を出させたり、熱を下げたり、咳を鎮めたり、下痢を止める働きの他、首筋の緊張を和らげる場合に用いられます。

葛根に含まれる成分には、でんぷん質の他に多くのイソフラボン誘導体があり、これがこわばりを和らげるパパペリン様作用の本態と考えられています。循環血液量を増やして、呼吸数を増加させ、気管支における熱を速やかに放出する働きがあります。また、フラボン誘導体には降圧作用が認められ、高血圧症に有効であることが実験的に明らかになりました。

皆さんにとっては、漢方薬の中でも葛根湯（かっこんとう）がなじみの処方と思います。

「どんな病気でも、ハイッ葛根湯」といった葛根湯医者が落語にも出てきますが、実際に、いわゆるカゼ症候群や感冒性胃腸炎といった急性疾患のみならず、頭痛や五十肩、そして高血圧症や副鼻腔炎（ちくのうしょう）など、非常に応用範囲の広い薬方です。